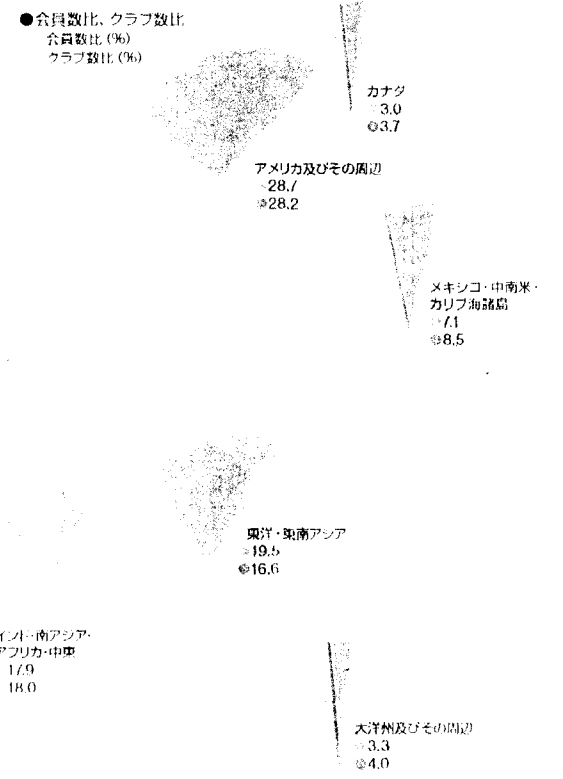


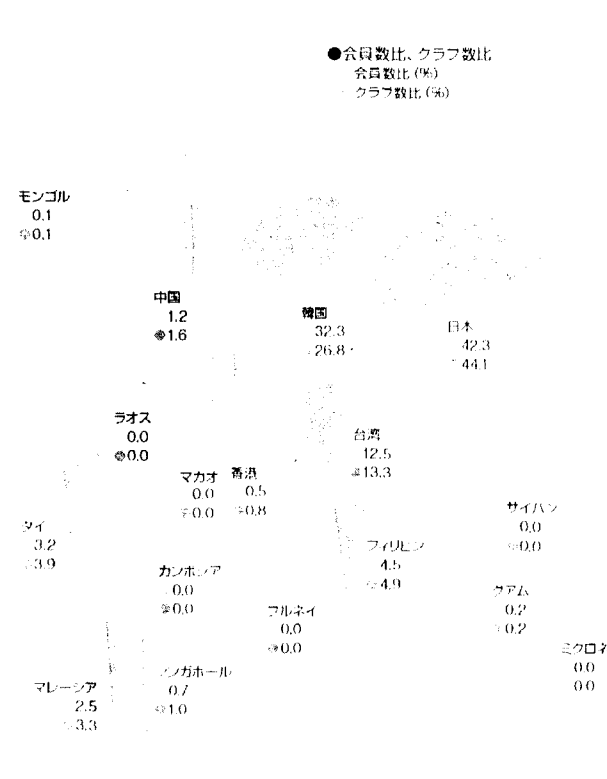
2008-09年度
ライオンズクラブ統計
各地域の情勢
2009年12月30日現在 国際本部集計

世界と日本のライオンズクラブの情勢、クラブ・アンケート調査結果、アクティビティ年間集計を掲載



地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ及びその周辺	12,865	239	317	-78	28.2	378,333	44,406	52,161	-7,755	28.7
カナダ	1,676	16	31	-15	3.7	39,753	4,381	4,790	-409	3.0
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	3,877	136	156	-20	8.5	94,166	15,918	13,942	1,976	7.1
ヨーロッパ	9,589	161	124	33	21.0	270,341	21,760	23,152	-1,392	20.5
インド・南アジア・アフリカ・中東	8,231	900	352	548	18.0	236,560	60,520	37,374	23,146	17.9
東洋・東南アジア	7,562	225	151	74	16.6	256,949	41,369	43,778	-2,409	19.5
大洋州及びその周辺	1,853	31	41	-10	4.0	43,006	5,854	5,615	239	3.3
合計	45,045	1,705	1,176	529	100.0	1,318,908	194,208	180,912	13,296	100.0

東洋・東南アジアの情勢
2009年12月30日現在 国際本部集計



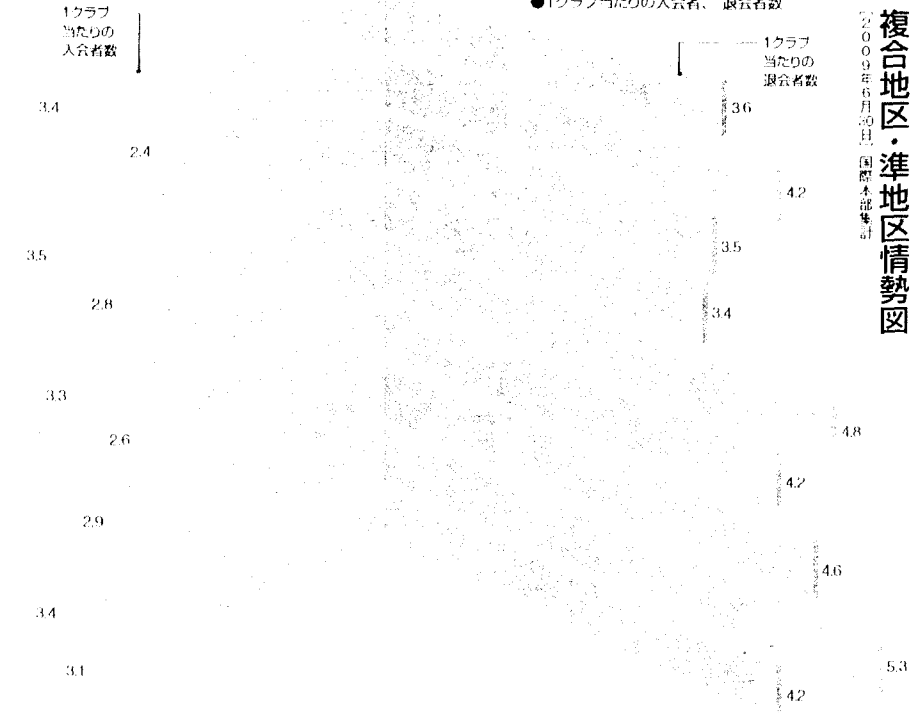
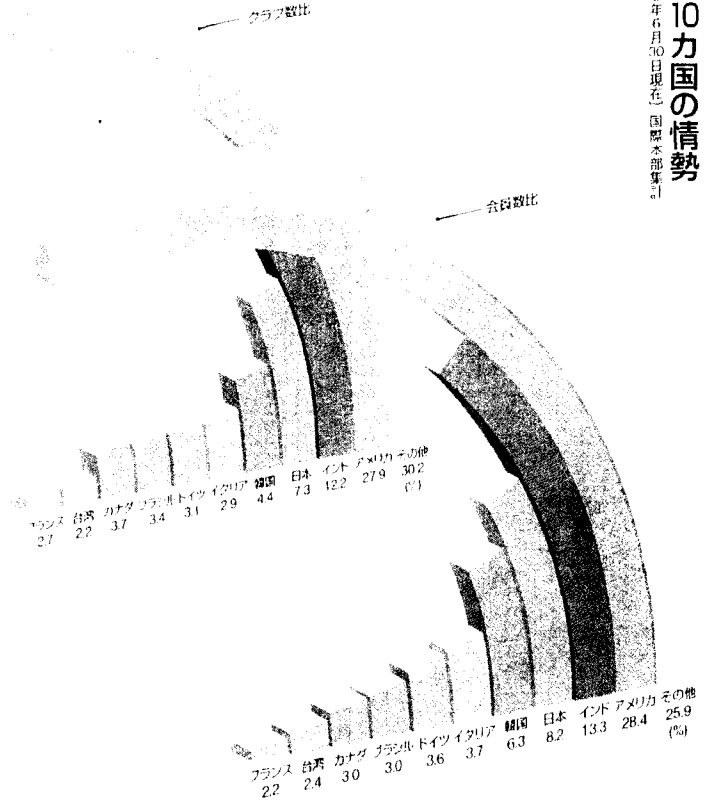
地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
シアム	14	0	1	-1	0.2	403	77	57	20	0.2
ミクロネシア	1	0	0	0	0.0	12	0	0	0	0.0
サイパン	3	0	0	0	0.0	35	11	6	5	0.0
マーシャル諸島	1	0	0	0	0.0	18	4	7	3	0.0
台湾	1,001	36	17	13	13.3	32,183	6,021	6,618	-597	12.5
フィリピン	369	28	13	25	4.9	11,495	3,576	1,970	1,606	4.5
香港	62	2	0	2	0.8	1,376	248	232	16	0.5
マカオ	2	0	0	0	0.0	50	5	4	1	0.0
マレーシア	245	6	3	3	3.3	6,462	873	863	10	2.5
シンガポール	71	0	0	0	1.0	1,727	215	254	-39	0.7
フルネイ	2	0	0	0	0.0	35	2	3	-1	0.0
タイ	296	9	6	3	3.9	8,190	1,362	1,569	-207	3.2
日本	3,537	16	62	-46	44.1	108,779	10,303	14,041	-3,738	42.3
韓国	2,025	80	43	37	26.8	82,965	17,084	17,742	-658	32.3
中国	123	42	6	36	1.6	2,974	1,511	585	1,126	1.2
モンゴル	7	2	0	2	0.1	138	74	19	55	0.1
カンボジア	3	0	0	0	0.0	59	3	8	-5	0.0
ラオス	1	0	0	0	0.0	46	0	0	0	0.0
合計	7,562	225	151	74	100.0	256,949	41,369	43,778	-2,409	100.0

主要10カ国の情勢
2009年6月30日現在 国際本部集計

●1クラブ当たりの入会者、退会者数

複合地区・準地区情勢図
2009年6月30日 国際本部集計

●会員数比、クラブ数比



複合地区・準地区	クラブ数	クラブ増減	会員数	会員増減	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数	複合地区・準地区	クラブ数	クラブ増減	会員数	会員増減	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数
330-A	200	-6	5,395	205	4.7	3.5	27.0	334-A	120	1	5,558	-208	3.4	5.4	46.0
330-B	188	-4	5,160	-75	3.1	3.5	27.4	334-B	85	-3	3,826	-98	4.3	5.5	45.0
330-C	102	-2	2,644	-194	1.6	3.5	25.9	334-C	83	-1	3,255	-116	2.8	4.2	42.2
小計	490	-12	13,199	-64	3.4	3.5	26.9	334-D	99	-2	4,111	-177	2.8	4.1	41.5
331-A	77	0	2,644	-100	3.3	3.4	26.3	334-E	53	0	2,141	-78	2.8	4.0	40.4
331-B	91	-2	2,589	-182	1.7	3.2	28.5	小計	440	-5	18,891	-677	3.3	4.1	42.9
331-C	59	2	1,842	-114	2.5	4.1	31.2	335-A	105	-4	2,756	-125	2.6	3.8	36.3
小計	227	-4	7,075	-396	2.4	4.2	31.2	335-B	204	0	6,300	-422	2.7	4.2	30.9
332-A	68	1	1,846	-148	1.7	3.2	27.1	335-C	122	-1	4,189	-217	2.1	3.3	34.3
332-B	55	0	2,110	380	10.8	3.6	38.4	335-D	67	1	2,156	-24	3.4	3.8	32.2
332-C	79	-4	1,487	-95	1.4	2.6	18.8	小計	498	-4	15,411	-798	2.5	4.2	30.9
332-D	77	0	2,056	-59	2.4	3.2	26.7	336-A	155	-1	5,910	-278	3.0	4.0	38.1
332-E	58	0	1,885	-49	2.9	3.8	32.5	336-B	97	-2	3,300	-249	2.5	5.8	40.0
332-F	52	0	1,363	-10	3.7	3.9	26.2	336-C	105	1	5,799	-116	3.1	4.2	36.2
小計	389	-5	10,747	19	3.5	3.5	27.6	336-D	105	-2	3,371	-140	3.0	4.0	32.1
333-A	79	-1	2,889	-144	2.4	4.2	36.6	小計	462	-4	16,380	-783	2.9	4.6	35.5
333-B	57	0	1,415	-8	1.9	2.1	24.8	337-A	118	-2	4,547	-198	3.5	5.2	38.5
333-C	134	-1	3,523	-71	2.6	3.6	26.3	337-B	80	-5	2,428	-227	3.0	6.2	40.4
333-D	57	2	2,127	71	5.0	3.8	37.3	337-C	85	-1	3,004	-137	3.5	5.8	35.3
333-E	82	1	2,965	-97	2.8	4.0	36.2	337-D	139	-5	4,178	-238	3.4	5.8	40.1
小計	409	1	12,919	-249	2.8	3.6	31.6	小計	422	-13	14,157	-800	3.4	5.3	33.5
合計	3,337	-46	108,779	-3,738	3.1	4.2	32.6	合計	3,337	-46	108,779	-3,738	3.1	4.2	32.6

	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ	12,738	235	316	-81	27.9	373,978	43,863	51,553	-7,690	28.4
インド	5,586	631	197	434	12.2	175,465	43,589	25,571	18,018	13.3
日本	3,337	16	62	-46	7.3	108,779	10,303	14,041	-3,738	8.2
韓国	2,025	80	43	37	4.4	82,965	17,084	17,742	-658	6.3
イタリア	1,314	15	9	6	2.9	49,176	3,644	4,747	-1,103	3.7
ドイツ	1,419	23	1	22	3.1	47,735	2,856	1,978	878	3.6
ブラジル	1,574	56	24	32	3.4	39,757	7,153	5,036	2,117	3.0
カナダ	1,674	16	31	-15	3.7	39,700	4,380	4,788	-408	3.0
台湾	1,001	30	17	13	2.2	32,183	5,021	6,618	-597	2.4
フランス	1,239	15	17	-2	2.7	29,044	2,763	3,201	-438	2.2
その他	13,738	591	459	132	30.2	340,126	52,552	45,637	6,915	25.9
合計	45,645	1,708	1,176	532	100.0	1,318,908	194,208	180,912	13,296	100.0

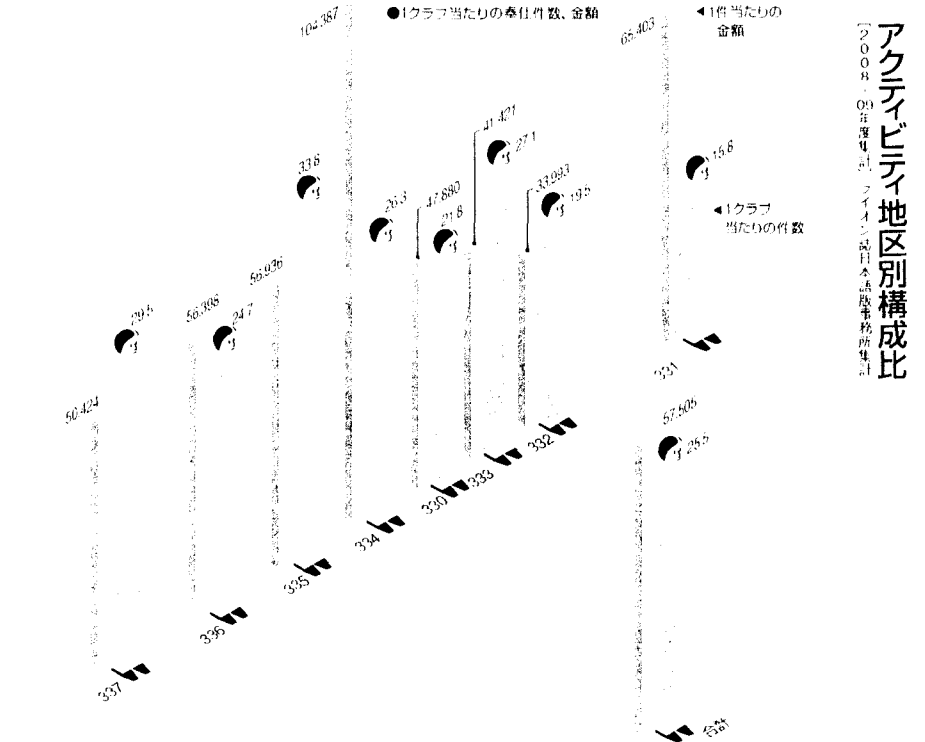
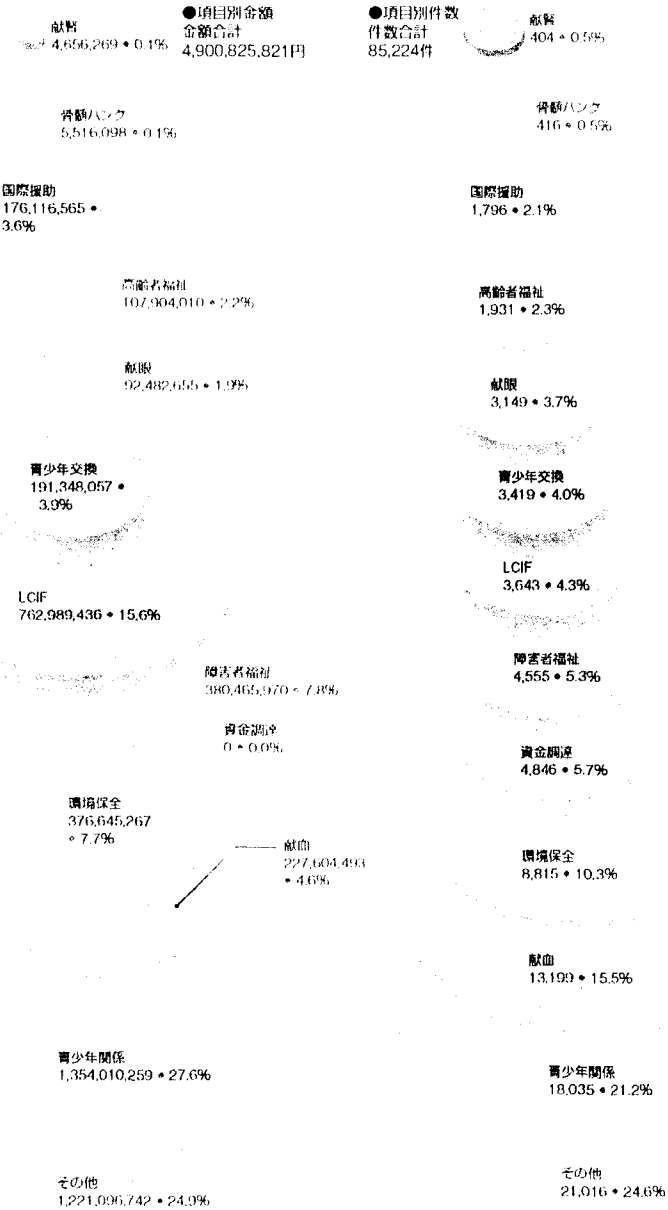
*年度末クラブ数・会員数には、スナクス・クラブを含む

アクティビティ地区別構成比

2008年度のライオンズクラブ活動事務所統計

主要アクティビティ構成比

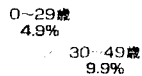
2008年度のライオンズクラブ活動事務所統計



複合地区	準地区	件数	1クラブあたり件数	金額	1件当たり金額	複合地区	準地区	件数	1クラブあたり件数	金額	1件当たり金額
336	330 A	3,677	16.4	232,645,675	63,270	334	334 A	3,019	25.2	529,748,971	175,472
	330 B	4,901	26.1	199,468,725	40,709		334 B	2,368	27.9	252,800,574	106,799
	330 C	2,080	26.4	78,197,408	37,595		334 C	1,712	20.6	111,986,688	65,413
小計		10,658	21.8	510,309,808	47,880		334 D	2,660	28.9	188,156,790	65,789
331	331 A	1,276	16.6	125,786,193	98,574	小計	334 E	1,592	30.0	122,977,979	77,247
	331 B	997	11.0	69,967,369	70,178		小計	11,551	26.3	1,205,771,002	104,387
	331 C	1,317	22.3	39,048,561	29,650	335	335 A	3,515	33.5	176,253,560	50,712
小計		3,590	15.8	234,796,123	65,403		335 B	6,286	30.8	429,066,158	68,256
332	332 A	982	14.4	49,208,140	50,110		335 C	5,561	45.1	267,912,272	48,702
	332 B	1,198	20.1	44,708,712	40,351		335 D	1,550	23.1	84,260,171	54,361
	332 C	1,691	23.8	48,754,418	25,919	小計	16,852	33.8	959,486,161	56,936	
	332 D	1,568	20.4	49,272,388	31,424	336	336 A	4,597	29.7	220,442,203	47,953
小計		5,347	22.3	198,443,748	37,111		336 B	1,827	18.8	122,657,653	67,136
333	333 A	982	14.4	49,208,140	50,110		336 C	2,716	25.9	195,548,231	71,999
	333 B	1,198	20.1	44,708,712	40,351	小計	336 D	2,286	21.8	105,756,566	46,263
	333 C	1,691	23.8	48,754,418	25,919	小計	11,426	24.7	644,404,643	56,398	
	333 D	1,568	20.4	49,272,388	31,424	337	337 A	4,841	41.0	268,657,775	55,496
小計		7,562	19.5	257,732,886	33,993		337 B	2,242	28.0	94,127,158	41,984
334	334 A	3,019	25.2	529,748,971	175,472		337 C	1,622	21.4	96,018,956	52,700
	334 B	2,368	27.9	252,800,574	106,799		337 D	3,562	25.6	169,831,347	47,679
	334 C	1,712	20.6	111,986,688	65,413	小計	12,467	29.5	628,635,236	50,424	
	334 D	2,660	28.9	188,156,790	65,789	合計	85,224	25.5	4,900,825,821	57,505	
	334 E	1,592	30.0	122,977,979	77,247						
小計		11,551	26.3	1,205,771,002	104,387						
335	335 A	3,515	33.5	176,253,560	50,712						
	335 B	6,286	30.8	429,066,158	68,256						
	335 C	5,561	45.1	267,912,272	48,702						
	335 D	1,550	23.1	84,260,171	54,361						
小計		16,852	33.8	959,486,161	56,936						
336	336 A	4,597	29.7	220,442,203	47,953						
	336 B	1,827	18.8	122,657,653	67,136						
	336 C	2,716	25.9	195,548,231	71,999						
小計		9,140	23.2	548,648,087	59,888						
337	337 A	4,841	41.0	268,657,775	55,496						
	337 B	2,242	28.0	94,127,158	41,984						
	337 C	1,622	21.4	96,018,956	52,700						
	337 D	3,562	25.6	169,831,347	47,679						
小計		12,467	29.5	628,635,236	50,424						
合計		85,224	25.5	4,900,825,821	57,505						

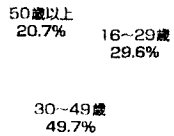
pick up

■年代別輸血状況



50歳以上
84.9%

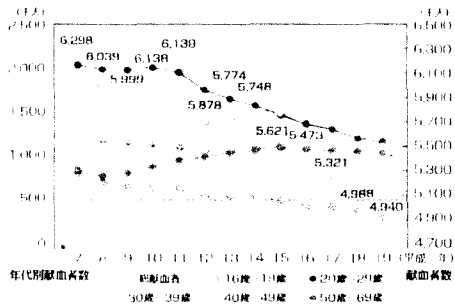
■年代別献血者数



(2007年東京都健康局調べ)

(2007年 全国)

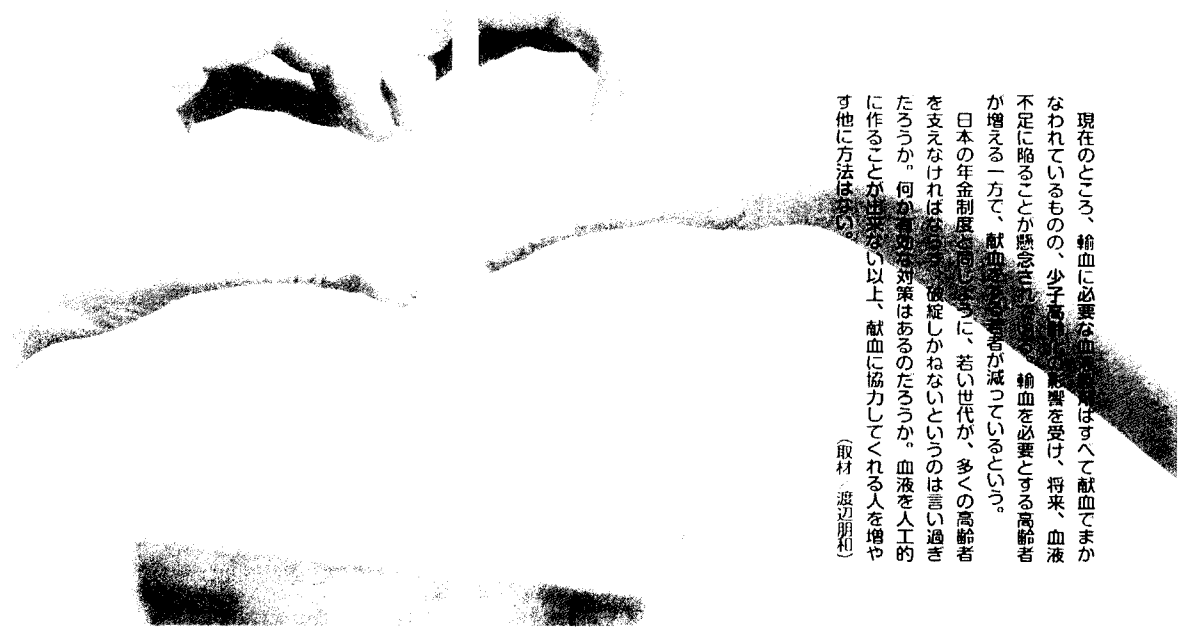
■献血者数の推移



pick up
ピックアップ

献血

少子高齢化で懸念される輸血用血液の不足。献血推進活動のこれから



現在のごとき、輸血に必要な血液はすべて献血でまかなわれているものの、少子高齢化の影響を受け、将来、血液不足に陥ることが懸念されている。輸血を必要とする高齢者が増える一方で、献血者数が減っているという。

日本の年金制度と同様に、若い世代が、多くの高齢者を支えなければならぬ。厳正しかならないというのはいきなり過ぎたろうか。何らかの対策はあるのだろうか。血液を人工的に作ることも出来ない以上、献血に協力してくれる人を増やす他に方法は無い。

(取材：渡辺朋和)

安全な血液の供給のため、日本で献血の普及が始まった当初から、全国のライオンクラブは献血推進に力を注いできた。1999年には、前年に設置された昭和天皇記念血液事業基金による昭和天皇記念献血推進賞を受賞している。

少子高齢化時代を迎え、今後どのような献血推進活動が求められているか、日本赤十字社に取材した。

小中学校からの献血教育で関心を高める

日本赤十字社・日本血液事業本部 献血推進課の菅原拓男課長は、献血量と献血者数の推移をまとめたグラフを示しながら、「表面的には需要に見合った血液の確保が出来ているのですが、献血者数は減少しています。40歳以下、献血量や成分献血が増え、一人あたりの献血量が増えることで需要を賄っているのが実態です」と説明する。

東京都の調査では、輸血を必要とした人の85%が50歳以上の中高年。今後、高齢者が増えることは必至で、輸血用血液製剤の需要は増えることにはあっても、減ることはない。

国立社会保障・人口問題研究所が発表する人口推計では、2007年に65歳以上の高齢者は10人に2人だったが、30年には3人、55年には4人になるという予測がある。いかに高齢者に人口比率の少ない若い世代が多く、高齢者を支えなければならぬことが分かるが、加えて献血者が減少していけば、救命医療に重大な支障を来すことになりかねない。

特に10代、20代の若い人たちの献血が少なくなっているのが心配。

と菅原さんは指摘する。

厚生労働省は、将来における安定した血液製剤を確保するため、08年度に献血推進のあり方に関する検討会を設置し、今後の献血推進方策についてさまざまな角度で検討し、その結果が同検討委員会報告書として提言された。同検討委員は、全国の16歳~20歳の若者を対象に、06年と09年に献血に関する意識調査を行い、献血への関心を問



したのは、06年に52.2%で、かつらうして半数を回復した。07年の調査では45.8%に減少し、無関心派の方が多いようになった。

このまま献血が無関心を若者が増えれば、どうなるか。答えは明らかだ。

小中学校からの献血教育で関心を高める

若者の献血離れを、菅原さんは「学校での集団献血が減少、経験上ではない人が増えたこと」が理由にあると考察している。意識調査でも、献血をしている人の多くは20歳以上で経験もあり、高校時代に経験がある人は回数が多くなる傾向が見られた。

菅原さんの見聞通り、集団献血が減少したことは献血離れの原因の一つとされている。これは、特に高校生の時に経験がゼロだった若く世代の関心を高めることが出来るのではないだろうか。献血推進のあり方に関する検討会でも、高校生の意識を高めるための方策を議論、検討している。

高等学校の学務指導要領解説には、保健体育の時間、献血制度について調査実施するようにしていること盛り込まれ、2013年、14年度には、教科書でも献血制度に触れる予定である。日本赤十字社、同検討会が討議を踏ま

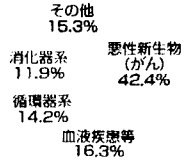
た、学校での「献血出前講座」などの体験学習を既に一部実施している。献血が出来ない小中学生の頃から血液の大切さや献血制度について啓発教育をしていくこと、高校での献血につながるような取り組み、リクメンクラブでは学校と連携して薬物乱用防止教育に取り組みしているようだが、献血は命と健康を守るという点を、通じるような取り組みを、菅原さん

自分も助けられる、という気持ち

若く世代への啓発活動、献血者が増えたことでも、進行中の問題もある。少子化がもたらす進級若く世代の絶対的な人口は減る。人口の増えの献血回数を増やしていく取り組みも必要だ。

献血推進のあり方に関する検討会では、100歳以上で全面献血が出来ない年齢層の引き下げも、必要の多い血小板製剤を確保するため、血小板成分献血が出来ると年齢層を引き上げることに、輸法は年齢層から血液を確保することを検討されている。現在、平均的な献血回数は1年1.7回である。

■疾病別輸血状況



(2007年東京都健康局調べ)

日本赤十字社は、これを2回以上は増やそうと、今後増加することを予想する輸血用血液製剤の需要に対応しているとのこと。

例えば、08年1月から複数回献血クラブ会員に対し、糖尿病予防に役立つツリコアルブミン検査を加え、採血時の検査メニューを携帯電話で見れば健康管理に役立てられるサービスを提供を始めた。これにより、会員登録者数が増え定期的に献血を促すという取り組みも、加えて採血後のケアが重要と菅原さんは言う。

採血後の休憩中は、献血した血液がどれだけの役に立っているのか、ハンフレッツなどで情報提供を行っている。献血が社会の役に立っていることが分ければ、回数が増えることが期待されています。調査でも、献血をした後、ハンフレッツを見れば社会の役に立っていることを知り、献血回数を増やそうと前向

きになる人が8割を超えている。献血推進のあり方に関する検討会の資料より、一言で言えば、献血は大きな社会的役に立っているのだよとか。

疾病別輸血状況を見れば、輸血の約半数が、がんの手術にも使う。今や日本人の10人に6人が、がんにかかっている。将来、自分も献血によって命を助けられるかもしれない、という意識を持つ人も増えては、自然に献血への関心を高めるのは自然か。

自他から献血推進のメリットが分かっている方は、従来よりも献血の必要か、献血や血液製剤のことを十分に理解している人は少ない。

血液製剤の中でも、白血球ががんなどの疾患で使われる血小板製剤の需要は特に高いため、特定の成分だけを取り出す成分献血を推進している。しかし献血者の中には、なぜ成分献血を勧めているのか理解している人は少ない。

また、献血推進のあり方に関する検討会資料では献血の種類について認知している人は1割程度です。

成分献血は血小板や血漿といった特定の成分を多く確保することを出来るメリットがある。採血時間は長くなるものの、回復に時間がかからない血液を体内に戻すため、献血者の身体への負担は少ない。献血者にも、患者にも

企業とパートナーとなつて献血を推進

企業とパートナーとなる側にも変化がある。献血推進に長い実績を持つライオンは、近年は個人情報保護の観点から献血の受付業務にかかわるのをやめ、以前よりもかきを感じてきた。また、以前よりも声を聞こうとする。しかし献血した人の情報提供、小中高校生の献血啓発活動など、献血推進プログラムの必要とする場面は増えている。

最近では社会貢献活動に積極的な企業が増えている。その一端として社員が集団献血を行う例も増えている。ライオンの活動としては、企業の役割、出口も有効である。日本赤十字会と血液確保のため、献血センター制度を設けている。集団献血に協力した企業には献血センターの優待メニューを発行し、企業のハンフレットなどに掲載して、社会貢献活動をアピールしてもらおうという取り組みだ。

企業を巻き込んださまざまな活動は、既に実績を挙げている。ライオンは本誌の9年1月号「獅子吼」欄で紹介した

「ライオン」東馬場馬場門前ライオンビルでは、丸の内内閣府と連携して計費協働など、企業、献血協力の呼び掛けを行っている。丸の内内閣府は「ライオンビル」を、金魚屋などの企業に呼び掛く。社員に献血を勧めたい。

ライオン計費協働株式会社は、同社の会議室に採血機を設置し、総務部を巻き込んで、社員に献血の協力を訴えた。同社は「ライオンビル」の障害者支援を含め、献血を呼びかけ、さまざまな分野、社会貢献活動に取り組んでいる。ライオンビルは、積極的に企業にも呼びかけ、ライオンビルとして、積極的に企業に働きかけ、さまざまな出来ることにしたいだろうか。

日本赤十字会には理解を深めるため、全国のライオンズを対象に今年10月22日、北海道十勝市にある血漿分画センターを見学するなど献血推進会議を開催している。今年の間催す予定は決まらずに、今後ともライオンビルの方々の方向性、献血推進プログラムの役割を、ライオンビルに託している。菅原さん

ライオンビルは、献血推進活動は、今後とも大きな期待が高まっている。

愛媛県・新居浜うちちライオンズが
別子銅山子ども探検隊



新居浜うちちライオンズは、横井文明会長、30人は2006年度に結成10周年記念事業として、愛媛県立新居浜南高等学校情報科2部の生徒たちを支援して、「近代化産業遺産別子銅山」を作成した。この縁から、クラブが市教育委員会と共同で取り組む「別子銅山子ども探検隊」で、同校生徒にガイド役を務めてもらおうとする。事業の目的は、児童が別子銅山の現地学習を通して先人の遺業を知り地域を愛する心を持つこと、登山により忍耐力を育み、友達との協力から仲間意識を帯びて育つことにある。

今年10月24、25日に実施した参加者は市内の小中学校高校生31人、

高校生8人、それに教育関係者15人、オンス会員を含め総勢61人。日浦登山口から紅葉を愛でつつ登り始める。登山道にはさまざまな別子銅山の史跡があり、高校生は日頃の学習成果を充分に活用して説明してくれた。子どもたちは根気よく丁寧に教える姿に感動を覚えた。最初の坑道、歓喜坑で昼食を取り、銅山の頂上へ到着。あいにくの雨で視界が悪かったが、山頂からの展望は素晴らしい。下山は険しいが、子どもたちは何度も尻もちをついたが、何とか銅山の里少年自然の家へ到着。夕食には皆で協力してカレーオンスを作り高鼓を打った。夕食後は薄く銅板の折り紙で創作し、

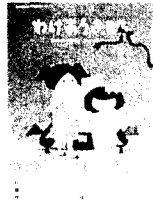
悪戦苦闘の末、世界に一つの作品を作り上げた。秋の夜はワイワイガヤガヤ、多くの友情が生まれた。

2日目は、東洋のマチヒコヒコと呼ばれる東平地区を散策。その後、広瀬歴史記念館を訪問し、別子銅山の初代総理事・広瀬幸平、別子の山々に緑を残した伊庭貞樹らの偉業について学習し、全日程を終了した。

児童は疲弊困憊の中にも、充実した自信にあふれていた。大人、高校生、新入会友夫人の出会い、さつき天宮な感動があったはず。今後も次代を担う子どもたちの心に、将来もつ花開く体験の種を再び続けていきたい。

〔青少年委員長 塩崎豊〕

栃木県・佐野中央ライオンズが
年間12回の献血会



佐野中央ライオンズは、豊岡重男会長、31人のアクトレスが中心となり、毎月第1火曜日に実施している献血会がある。献血はボランティアな任意活動だが、車庫で年間12回開催しているクラブは多くはないだろう。

会場には佐野市内にあるオンス佐野新都市店に協力頂き、正面玄関前のお客様用駐車スペース10台分を借り、献血車の音を配車する。献血会の当日は、早起きして駐車スペースの場所取りから始まる。献血会専用クラブ・テナ

ントと看板を設置、赤十字献血センターの機置設置に協力した後、PR用看板を片手に来場者に協力を呼び掛ける。

しかも、平日の昼間どころか、来場者の少ない午前や天候が悪い時など、なかなか協力者が集まらないこともある。近年では広報活動にも力を入れ、PR用ポスターを毎年作り市役所等の公共施設に掲示したり、佐野市広報等に案内を掲載してもらっている。そのかいも、市民にも徐々に浸透し

てきたようだ。当クラブの献血会はリピーターの協力者が多いのも特徴で、顔見知りになり、いつもありかたうございませうとあいさつを交わすことも出来るようになった。

毎月の活動なので、部のメンバーは月に負担が掛からないよう、年間スケジュールを組み、手分けして継続している。屋外なので、夏の暑い日、冬の寒い日は大変だが、地域貢献をメンバーでかんはっている。

〔幹事 山本正明〕

青森県・南野総ライオンズが
献血協力者2万人達成



28年前、ある会員が東京に出張時、上野駅前で活気あふれる献血アクティビティを目撃した。これは早速開いた。2006年、東京上野ライオンズクラブで毎月活動中とのこと。ぜひ我がクラブもと提案、承認された。

記念すべき1982年、新町の赤十字者大団で第1回の呼び掛けをした。初年度は3回で計519人の採血者を放した。2年目は5回で978人、8年目に5千人達成。それから9年後に1万人、更に4年後の21年目に1万5千人目となった。昨年にお住まいの鹿内清江さん、60歳は、元氣なうちに1000

人の役に立ちたいと受諾で語ってくれた。そして遂に28年目の今年、2月28日に2万人達成。第190回日献血活動の快挙!!

記念すべき2万人目の駒木正紀さんは43回目の献血をした。青森も大きなライオンズで、16人の前田会長から認定証と記念品を贈呈した。

04年には厚生労働大臣が第1回献血運動推進全国大会において功績を評価され表彰された。地区のウエスターディング大会及び金賞、銅賞も計7回受賞しており、先帝ライオンの活躍

を物語っている。

青森県知事表彰と感謝状は05年に贈られて以来、ほぼ1年おきに受賞。記念アクティビティとして15周年には献血センターに献血補助車、20周年には血液成分分離装置を、25周年には献血推進広報車、そして30周年には広報用ポスターを贈呈した。

現在クラブは会員数が減少、会員増強の佳機に思いついた。先帝ライオンの功績を無にせまい、会員、凡そあってか人は、献血者3万人に向ける、新たな気持で邁進したい。

情報・PR委員長 出明時彦

千葉県・南房総ライオンズが
完全ペーパーレス・クラブ運営



南房総ライオンズは、20人から結成されたのが3年前。クラブ運営をスリム化、限られた予算を有効に使うために、事務局と職員は持ち手、事務局機能を備えたホムズ・システムをベースとして運営している。会則や入会申込書、会計報告書など、あらゆる書類はすべてペーパーレスで、これを自由に利用出来る。幹事と委員間の連絡もホムズ・システム、例会や活動の出欠状況も全員が確認出来る。

更に、今年1月からは、例会でもペーパーレス化を図ることにした。紙質

資料の幹事報告書を作らず、例会ではウエスターディングでホムズ・システムを表示し、幹事と口頭で活動予定や連絡事項を説明する。

インターネットを活用することの利点を挙げてみよう。

- 1 例会等の案内の送信は不要
- 2 会員自身が出入欠簿に記入
- 3 会費の入金状況を全員が確認出来る
- 4 例会配布用の幹事報告書は不要
- 5 クラブ資料共有化で各自の保管不要
- 6 事務局及び職員もペーパーレス運営

7 事務局費、通信費、印刷費ゼロ

8 事業費に多額を算配分が出来る

こうした取り組みにより幹事の負担が大幅に軽減し、次期幹事の任命もスムーズになった。インターネットも若手会人も、例会ごとにホムズ・システムを見ることで、自然に無理なく慣れ、いく

会員は例会出席を記入するためにホムズ・システムを開くので、必然的に情報も伝達される。全員で取り組むことで会員の結束力が増し、その効果は絶大な。当然増地面でもエロロカれて、時代に即したクラブ運営となった。

会長 原田利昭



天神祭を季節の神様で知られる大阪天神橋のよき文化にも、日本一長いと言われる大阪天神橋商店街（丁目から7丁目まで南北3キロ延び、最寄り駅が5つある）が長い歴史がなく、商店街の老舗に歴史もあふれ、今に伝わる名所がある。そしてそこから外れた街にもまた、いろいろ面白い店や場所がある。

そんな雰囲気ある地域に事務局を構えるのが、我が大阪天神橋ライオンズだ。太田明会長、22人、商店街入り口から6回の清掃、献血奉仕活動を行っている。

この献血について、地元市民の関心を高め協力を増やして行くにはどうしたらいいか、クラブでは例会を理事会や何回も試行取り上げてきた。そして、長年続いている中で、少しずつ良いか所が出てきて、少くも大切な一歩かと思えてきた。

そこで、かねてからクラブで子どもを通した交流のある大阪市立堀江小学校と共に行う活動することを決めた。小学校側にも申し出て、快くお返事を頂くとお出来た。同校は同様に和やかな雰囲気の中で参加している他、2007年のクラブ結成10周年に、数々増えることと決意して、5月のなかま祭り、6月までの失敗を経験した結果、5月1日に当たる02年度のなかま祭り、幼稚園に対象を絞った贈呈式を行いました。

09年1月から、献血活動にPTAの方にも参加して、通行される知人、友人などに声掛けをして、大阪を真に知る強い味方を得ようという目標がある。

地道にはもちろん、これから大々とした取り組みを大切にして、地元の方々に呼び掛けていきたい。願っている。増城保子・献血奉仕委員長 久徳博之



本年度クラブ結成10周年を迎える豊田シニアライオンズ、光岡茂夫会長、32人、青少年健全育成、とりわけ幼稚園児、小学生児童の情操育成事業に積極的に取り組んできた。今年子どもたちに人気のあるカブトムシを育てたカブトムシ贈呈式、2001年から幼虫を採取し、オサナギを越冬させ、3年目にようやく100匹近いカブトムシの準備が、即売会を行うこと出来た。とはいっても、ここからまた試行錯誤の連続で、奇形がたまに発生し、孵化した雌雄の数が不確定なため、毎日味見をを行いエサを分けるの

が、数を増やせることと決意して、5月のなかま祭り、6月までの失敗を経験した結果、5月1日に当たる02年度のなかま祭り、幼稚園に対象を絞った贈呈式を行いました。

カブトムシの育成は年間を通しての作業だが、全員で取り組むことで、はたして、お担当者も折衝が出来るようになった。03年度まではカブトムシ以降はカブトムシの準備が、即売会を行うこと出来た。とはいっても、ここからまた試行錯誤の連続で、奇形がたまに発生し、孵化した雌雄の数が不確定なため、毎日味見をを行いエサを分けるの

豊田山からカブトムシの幼虫を採り出し、採取家の家園に置いて、面倒を見る。6月下旬から7月頃、きれいな幼虫180匹のうち、100匹を成虫に育て出すことになり、この頃は心配で、お仲間も感動していた。

自分から出来たカブトムシ、協力してこの事業を続けていきたいと思つた。幹事 泉田八州彦

獅子吼

献血・骨髓バンク登録を増やそう

清水 厚実 東京馬場先門

世界の国々を安全な生活と人権を守るため、1日5分、競争を貧困を差別を無くすことを念じておこなう。我々は世界中で起きている現象を、材料

世界各國々を安全な生活と人権を守るため、1日5分、競争を貧困を差別を無くすことを念じておこなう。我々は世界中で起きている現象を、材料

世界の国々を安全な生活と人権を守るため、1日5分、競争を貧困を差別を無くすことを念じておこなう。我々は世界中で起きている現象を、材料

の大事と思われ、少しも出来てくると、世界中で起きている現象を、材料

世界の国々を安全な生活と人権を守るため、1日5分、競争を貧困を差別を無くすことを念じておこなう。我々は世界中で起きている現象を、材料

世界の国々を安全な生活と人権を守るため、1日5分、競争を貧困を差別を無くすことを念じておこなう。我々は世界中で起きている現象を、材料

お仏増・仏具はやばり京都

(株) **若林**

伝統工芸 京仏増・京仏具

〒600-8201 京都府京都市東山区大宮1-1-1

TEL: 075-251-1111 FAX: 075-251-1112

営業時間: 10:00~18:00 (年中無休)

代表取締役: 若林 隆夫

〒600-8201 京都府京都市東山区大宮1-1-1

TEL: 075-251-1111 FAX: 075-251-1112

営業時間: 10:00~18:00 (年中無休)

代表取締役: 若林 隆夫

的に進められ、私共クラブの献血並に骨髄バンク登録事業も、その一環としてとらえて頂き、全社的立場での協力を頂いており、さき日本の一流企業であるといふことを実証されている。

ご承知のように、今、献血は協力者が少なく、大きな社会問題となりつつあり、血液が無かったため、55歳以上で大切な生命を落としている人も少なくない報道も聞かれています。政府も法律を改正して、100歳以上の採血年齢を18歳から引き下げられるなど、その拡大に努力されています。



そこで提言でもあるが、全国のライオンズクラブが行っている献血並に骨髄バンク登録事業を拡大し、一層成果が上がるようにするため、私共が実践している企業、学校、団体等の協力要請を、全国のライオンズクラブに呼びかけて頂くことは、非常に重要である。企業、学校、団体等では、CSR、あるいは社会奉仕、高校、専門学校、大学等では、どのような社会奉仕をすれば、単位修得を認められることになっている、という立場で、必ず協力を頂けるとの確信があります。

つて積極的な努力があれば、必ずや大きな成果を上げ得るものと期待している。多くの病める人たちの生命を救う活動に、ぜひ結びつけて頂きたいと提言するところである。

ライオンズに魅せられて

木村 實（福岡県・久留米ちとせ）

本誌月号は、「在籍百年を振り返って」と90歳の木村義次（鹿児島ライオンズクラブ）が投稿されています。

そして、周年間内、例会欠席はたな1回とのことで、大変残念だったのではないかと拝察いたします。

奇しくも私も在籍百年になります。幸いにも健康に恵まれ、また何よりも例会出席を優先した結果、周年間例会無欠席をいままで続けています。よく飽きもせずライオンズクラブを続けていたものなど時々その理由を自問してみるのですが、各々は、ライオンズに魅せられて、しじか出せません。それと私は、ライオンズクラブは人間形成の道場と多感しています。

相手の意見をよく聞き、勝手に行動を擅み、自己の非は素直に認める。相手を激励し、祝福する心を持つ。自己の責務を果た

す等、団体行動における要諦は欠かれません。相手の人格を尊重しつつ、自己の意見は堂々と述べて議論すること、クラブも個人も成長するように努める、こればと思っています。

私は10月で齡81歳を迎えます。長寿の時代、長い人生とはまた言えません。ライオンズ人生周年間、長いようで短く、遅いようで早かった歳月を振り返って見ると、ライオンズクラブの各役職と経験、またキミを上下構成員を任じられたり、更に現在は終身会員に推薦され感謝しております。今後大会以来の例会無欠席の記録を伸ばしていきたいと思います。友愛の情に満ちた会員からライオンズクラブを築きみたいと思っております。木村義次は90歳を超えたいと思います。目標は、かえっていいかもしれません。

17